

2015 CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書





ITの発展とともに歩み続けて50年
これからも社会とステークホルダーの
皆様から信頼され成長を期待される
企業を目指します

代表取締役社長

三 田 昌 孝

ITの持つ無限の可能性にチャレンジし 事業を通じて社会の持続的発展に貢献する

キーウェアグループは、おかげさまで今年創立50周年を迎えました。これもひとえに、お客様、パートナー企業様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様のご支援の賜物であると、心より感謝、御礼申し上げます。

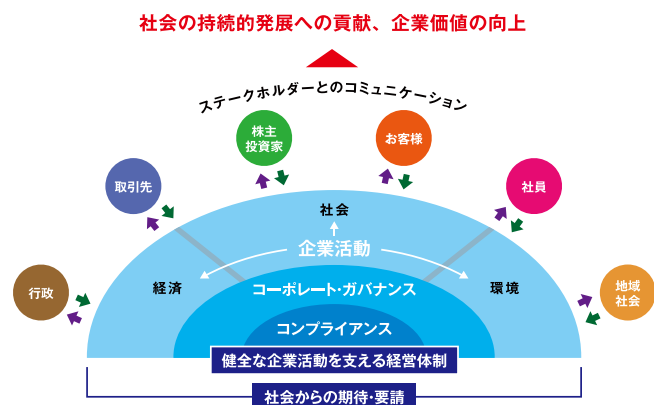
当社グループは、自らの社会的役割として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えるソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを掲げています。つまり、安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、また、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指すことが、当社グループの社会的責任であり、CSRの基本的な考え方です。

コンピュータの黎明期であった1965年に創立して以来、キーウェアグループはITの発展とともに歩み続け、官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造分野等多様な分野において、社会インフラを支える情報システムの構築に携わり、多くのお客様から高い信頼をいただいております。

さらに近年は、IT環境の急速な進化に伴って多様化するビジネスニーズに即した新たなサービスの拡充にも取り組んでいます。例えば、セキュリティ分野では、指紋と指静脈を組み合わせた生体情報による本人認証モジュール等の高度なセキュリティ関連製品・サービスを提供するとともに、個人のお客様に向けてスマートフォンの情報漏えい防止アプリ等の販売を行っております。

CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



「CSR推進室」を中心に全社的活動を活発化 推進体制をより強化し、CSR方針を新たに策定

お客様や社会のニーズに応えるITソリューション・サービスを提供し、企業として成長を続けていくためには、さまざまなステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えています。

このような社会的役割や社会貢献のあり方を社員一人ひとりが正しく理解し、グループ全体にCSRマインドを浸透させ、CSR活動を活発に展開すべく、昨年4月に専任部署として「CSR推進室」を設立いたしました。そして、設立2年目である本年、活動をより組織的・体系的に進めていくために、当社グループ内のCSR推進体制を強化いたしました。

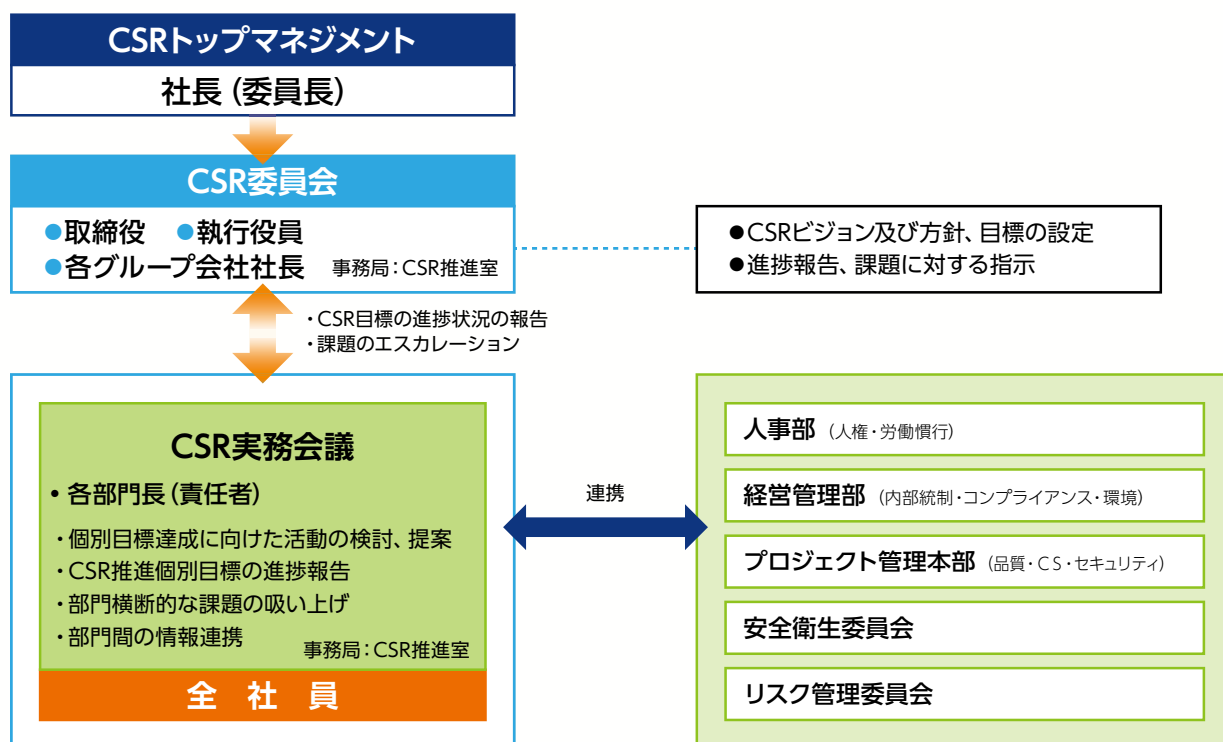
まず、社長を委員長とする「CSR委員会」が、基本となるCSRビジョンおよび方針、目標の設定を行います。これを、各部門長（責任者）で構成される「CSR実務会議」が個別目標へと落とし込み、その達成に向けた具体的な施

策やアクションプランを検討・策定し、全社員への浸透を図り、実行してまいります。

さらに、CSR実務会議は個別目標の進捗状況と部門横断的な課題を把握し、CSR委員会に定期的に報告を行います。これを受けたCSR委員会が、進捗状況や課題に対する指示を行うといったように、両者が緊密に連携し、フィードバックやアクションプランの見直し等を行いながら、目標達成や課題解決を実現してまいります。また、CSR実務会議は、人事部、経営管理部、プロジェクト管理本部、安全衛生委員会、リスク管理委員会とも連携を図ってまいります。

このような体制を整えた上で、新たにキーウェアグループのCSR方針を策定いたしました。方針に基づいて、全社一丸となってCSR活動を積極的に推進してまいります。

【CSR推進体制】



「ワーク・ライフ・バランスの実現とメンタルヘルスケア」をCSRのもう一つの柱に

CSR方針に掲げた「環境」「消費者に関する課題」といった領域についてキーウェアグループは、以前から国際規格に則った品質・環境・情報セキュリティ・個人情報保護を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しております。本システムの更なる徹底を図っていくとともに、今年度特に注力していきたいと考えているのが「労働慣行」に関する領域です。

お客様に最適な製品・サービスを提供していくためには、社員が「お客様に寄り添うこと」が重要です。しかし、そうするためには、まず、業務を遂行する社員自身が心身ともに健康であり、公私ともに充実した、イキイキとした生活を送っていただかなければなりません。それがあってはじめて、製品・サービスの品質や生産性の向上が図られ、お客様、社員、会社の幸せにつながっていく。私たちはそう考えています。

情報サービス産業にとっての最大の経営資源は、ほかでもない「人材」です。当社グループが更なる成長を続けていくためには、「健康経営」および「社員のワーク・ライフ・バランスの実現」が必要不可欠であると考えています。そこで今年度は、「社員のワーク・ライフ・バランスの実現とメンタルヘルスケア」をCSR活動のもう一つの柱として位置づけ、全社を挙げて施策に取り組んでまいります。

当社グループではこれまで、「社員が健康で安心して働ける環境づくり」や「社員が仕事と子育てを両立させること

ができる働きやすい環境づくり」に努め、計画年休日数の増加等さまざまな施策を進めてまいりました。昨年度からは社員の残業や休日出勤に関するフローも見直し、執行役員による承認制を導入しております。これに加えて今年度は、単なる時間管理型の勤務管理からの脱却を図り、各部門やプロジェクトの特性・環境等を踏まえた上で、実情に即した負荷軽減・休暇取得促進策を社員自身が検討し、策定しています。そして、経営層も含めた社員全員が主役となり、主体的に取り組める施策を展開してまいります。

また、2013年度下期からスタートした全社的な経営改革活動「IKI²! (イキイキ) プロジェクト」も、引き続き推進してまいります。「IKI²!」は「'Innovate Keyware!' Initiative」の略で、「社員の力を結集し、キーウェアグループをイキイキした会社に革新しよう」という意味が込められており、当社グループがより「魅力ある会社」になっていくために、社員一人ひとりが現在取り組んでいる業務を見直し、課題や改善点を抽出し、その解決に向けて考え、議論し、行動していこうという趣旨のプロジェクトです。「できることから変えていく」を基本方針に活動しています。

すべての社員が自身の能力を存分に発揮し、イキイキと働き、お客様にも喜んでいただける。そんな明るく輝くキーウェアグループを、社員全員で創っていききたいと考えております。



次なる50年に向けて これまで以上に技術力と品質の向上に努める

今日、ICTの利活用は、教育、農業、暮らしなど幅広い分野に広がっており、社会におけるさまざまな課題に対応していく上で、もはや必要不可欠な存在となっています。これからも、当社グループの企業スローガン「IT can create it.」に掲げたクリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性にチャレンジし、新たな価値を創造し、広く社会に提供してまいります。

キーウェアグループは、次なる50年に向けて、企業としての社会的責任を認識し、積極的にコンプライアンスを推進することに加え、最適な商品やサービスを提供するとともに、常に最先端技術の探求と普及に努め、社会とステークホルダーの皆様に信頼され成長を期待される企業となるべく、更なる努力を重ねてまいります。

[CSR方針]

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループは、7つの重点領域においてCSR活動に取り組めます。

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組めます。

2 人権の尊重

- 我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- 従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。

暮らしの中のキーウェア

私たちは、情報システム・サービスを通じて豊かで便利な社会の発展を支えています。

01 空港で



航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で



ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で



商社向け在庫管理・入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で



交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で



野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



06 固定電話で、携帯電話で



一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で



オーダーリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で



金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



安心 安全 便利

15 農場で



ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサーネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることで栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。



14 宇宙で



衛星追跡管制・衛星関連データ処理宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで



経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

ハイブリッドシンクライアントソリューション

VUMS (パムス) は、シンクライアント環境において、生体認証装置、ICカード・リーダー等のUSB周辺装置を安全に利用できるようにするソリューションです。マイナンバー制度における特定個人情報を取り扱うシステム基盤において、なりすましができない強力な認証基盤の構築を支援します。

非接触型指ハイブリッドソリューション

指ハイブリッド（指紋と指静脈）認証を可能とする組み込み用途向け小型モジュールを提供。入退室リーダーや複合機等の高いセキュリティが求められる機器において、セキュリティを強化することが可能です。

電子錠システム

Interactive CLIQは一本の鍵で複数のシリンダーを施解錠管理（設定、変更、履歴収集）する電子錠です。極めて精度の高い情報保護・セキュリティ確保をサポートします。



12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



09 自宅で



ショッピングサイト

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

在宅就業支援、テレワーク

シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

10 モバイルで



スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々のバイタルデータを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパス LifeRoute (ライフルート)」や、大切な情報を外部に流出させる不正アクセスや不正Wi-Fiによる盗聴を事前に検知し、利用者に警告するスマートフォン情報漏えい防止アプリ「セキュアカーテン」を提供しています。

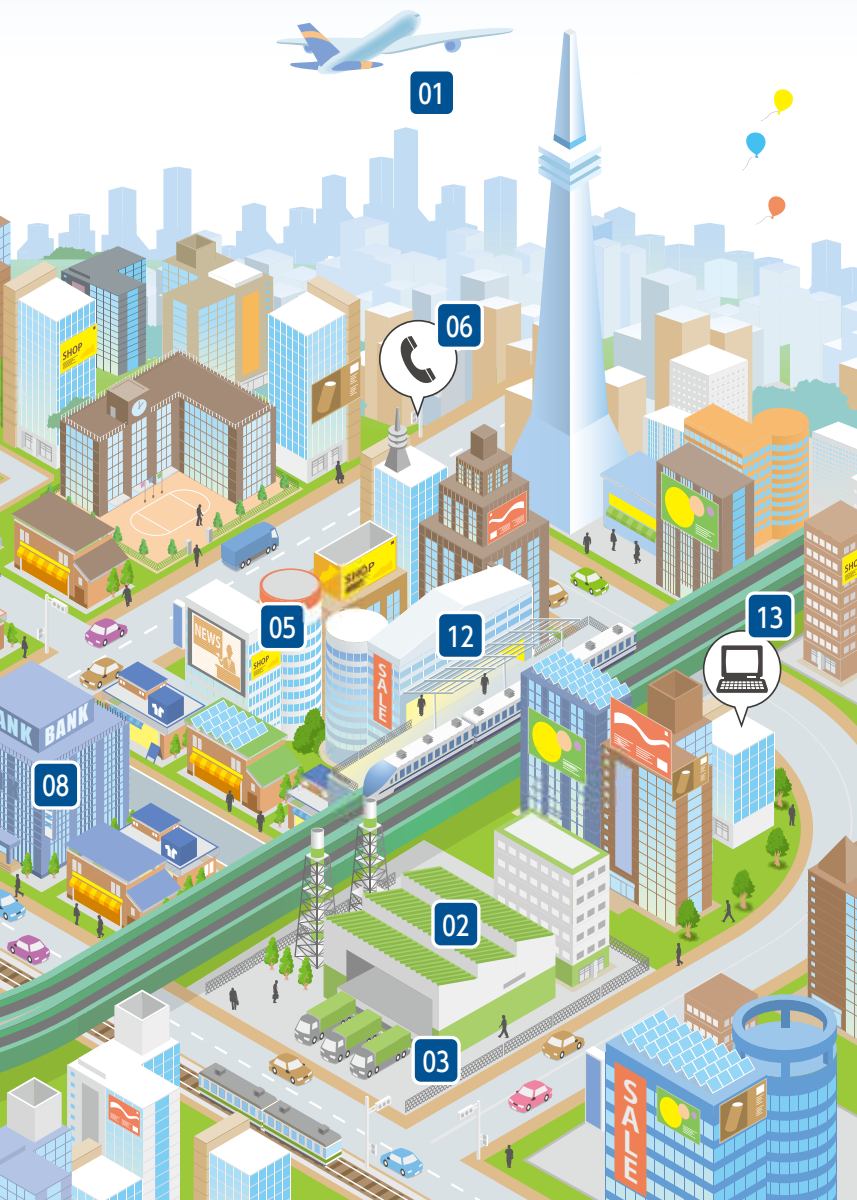


11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



マネジメント編

キーウェアグループは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

グローバル化の進展や企業価値重視の経営という流れの中で、企業におけるコーポレート・ガバナンスの重要性はますます高まっています。こうした中で、当社グループとしてもコーポレート・ガバナンスを重要課題の一つとして捉え、経営環境の激しい変化に対応すべく、経営の効率化・意思決定の迅速化や経営監督機能を充実させるため各種施策に取り組んでいます。

経営監督機能と業務執行機能

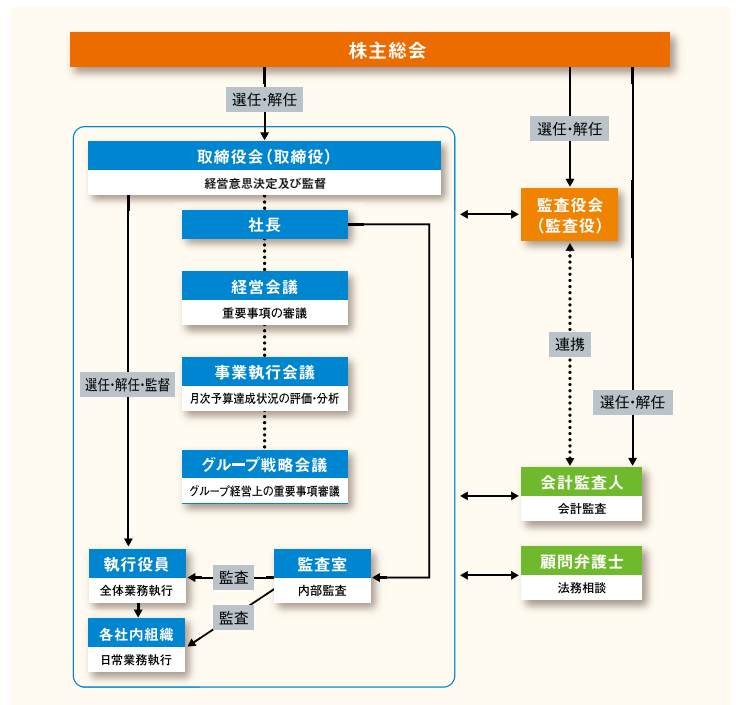
キーウェアソリューションズ(株)におけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員の「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。

取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役6名のうち1名は社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にする上で1年としています。

業務執行機能を担う執行役員は、代表取締役により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。執行役員は6名で、その任期は1年です。なお、取締役2名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役4名のうち2名は社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公正正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。



内部通報制度

法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

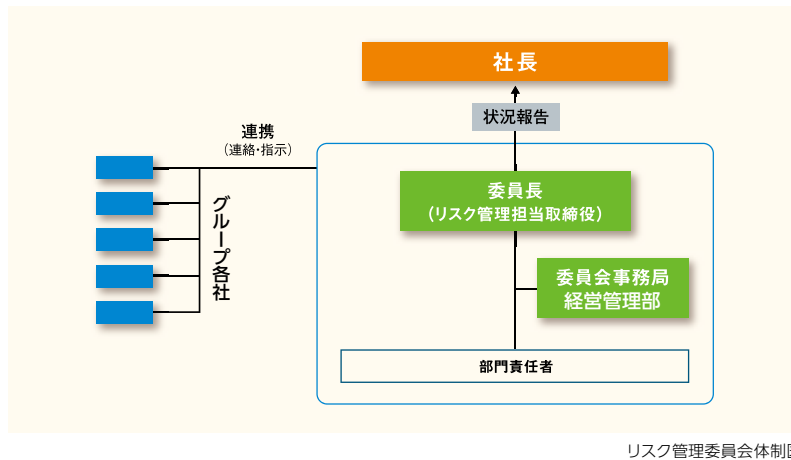
コンプライアンスの啓発・教育の実施

社員のコンプライアンスへの意識向上を図るため、毎月コンプライアンスに関する情報を全社員向けに発信するほか、2014年度においては、情報セキュリティ及び社員の倫理的行動を促すことを目的とした教育を全社員向けに実施しました。

リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合またあう恐れのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品(3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等)の整備、防災訓練などを実施しています。

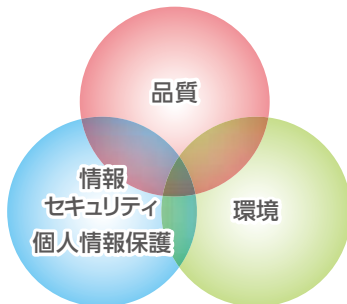


防災訓練の様子(本社)

統合マネジメントシステム (品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、および個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH: Integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけでなく、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、全社員及び当社業務に関わるパートナー社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェアサービス(株)及びキーウェア九州(株)を除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編

キーウェアグループでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現のため、生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

iSMASH目標

目的	2014年度		2015年度
	目標	実績	目標
環境パフォーマンスの向上	電力使用量：2013年度と同等以下	2013年度比1.6%増加	電力使用量：2014年度と同等以下
	紙使用量：2013年度と同等以下	2013年度比2%増加	紙使用量：2014年度と同等以下
	廃棄物量：2013年度と同等以下	2013年度比14.2%減少	廃棄物量：2014年度と同等以下
	水使用量：2013年度と同等以下	2013年度比11%増加	(※)
	グリーン調達率：2013年度より同等以上	2013年度比32%増加	グリーン調達率：2014年度より同等以上
	生物多様性対応への認識向上	環境テストの正解率は2013年度と変わらず	環境教育の継続実施

※水使用量については、業務に水を使用するわけではないため今年度から目標値の設定はしないこととしました。(実績管理は継続して実施しています。)

環境パフォーマンス



※ 保護 (まもる) くんを活用したリサイクル活動

	2012年度	2013年度	2014年度
年間排出量	14,825kg	14,590kg	12,570kg
森林伐採抑制量	221本	216本	186本
CO ₂ 排出抑制量	5,848kg	6,235kg	5,367kg

保護 (まもる) くんとは、

(株)日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

また、カーボンオフセットサービス「保護くんZERO」があり、カーボンオフセットにも貢献しています。



特筆すべき活動

： 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

： 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアグループは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しました。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマンゴローブの植樹活動に役立てるといふものです。

資源の有効活用だけでなく、マンゴローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。



： 世田谷みどり33

キーウェアソリューションズ(株)本社のある世田谷区では、区制100周年(2032年)に区の面積の3分の1をみどりにする(みどり率33%の達成をめざす)という「世田谷みどり33」を実施しています。当社でもこの活動に賛同し、みどりを増やすべく本社裏手で花や野菜等を栽培しています。また、「世田谷区みどりのトラスト基金」にも協力しています。



： ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

- キーウェアソリューションズ(株)本社
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェアサービス(株)
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェア西日本(株)本社
関西エコオフィス宣言登録事業所
- キーウェア西日本(株)中部ITセンタ
名古屋市認定エコ事業所
- キーウェア九州(株)
福岡県エコ事業所

： 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わるすべての関係者に教育を実施しています。

- 全グループ社員及び当社業務に関わるパートナー社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。また、中途採用者及びプロジェクトへの新規参画パートナー社員に対する教育を随時実施。
- その他協力会社(廃棄物処理業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。

： 木植えあプロジェクト(キーウェア北海道(株))

2014年10月27日、札幌市立北九条小学校にベニヤマボウシを植樹しました。札幌はかなり寒く、コートが必要不可欠な時期でありましたが、子供たちと寒い中笑顔で植樹しました。植樹した場所は、校門を入ってすぐ左手前であり、学校に通う子供たちも毎日目にすることでしょう。子供たちと共に、大きく立派に育ててほしいものです。ベニヤマボウシ(紅山法師)は「ハナミズキ」の仲間です。山地の傾斜地や谷間などによく生えている落葉高木で、平均の高さは5~10m、大きなものは15mにもなるそうです。花言葉は「友情」です。植樹した時と比べ、花が咲き幹がしっかりとしている様子をご覧ください。

札幌市立北九条小学校の「学校経営の重点」は、以下となります。

子どもの『自信・勇気・知恵』を生きる力に変えて
～想像力と創造力を子どもとともに高める～

まさに花言葉である「友情」と共に、子供たちは『自信・勇気・知恵』を生きる力に変えて活動することでしょう。明治25年に寺子屋として開校し、歴史ある北九条小学校の在校生、先生方、卒業生も含め、これから大きくなる「ベニヤマボウシ」を見て、幸せな感情を持っていただければと思います。

キーウェア北海道(株)は、植樹を寄与したことにより、札幌市より感謝状を頂きました。今後も「木植えあプロジェクト」を推進し地域貢献に励みたいと考えております。



社会編

キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様と共に

※ お客様満足度 (CS) 向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

※ お客様満足度 (CS) アンケート実施

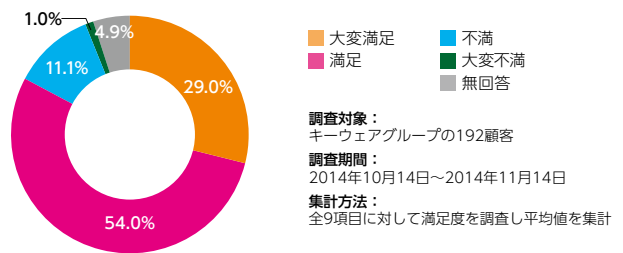
キーウェアグループでは、定期的に主要なお客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。2014年度はお客様に負担をかけない試みとして設問数を減らし、さらにお客様の当社への評価を引き出す試みとして、当社の強み／弱みを記入する項目を設け、貴重なご意見を頂くことができました。

頂いたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内で共有し、改善に取り組んでいます。

※ お客様満足度 (CS) 向上勉強会開催

社員全体のCS意識向上のため、毎年CS向上勉強会を開催しています。2014年度の勉強会では、参加者へCSの傾向分析結果だけでなく、個別のアンケート情報の一部を紹介し、より多くのお客様の声が直接現場へ届くようにしました。また、アンケートの結果、お客様の期待がプロジェクトマネジメント能力の向上にあることがわかり、勉強会でプロジェクトマネジメントの要であるプロジェクト計画書の説明を行い、計画の重要性の浸透を図っています。

2014年度お客様満足度 (CS) アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

※ 基本的な考え方

キーウェアソリューションズ(株)は、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズ(株)に対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

※ 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定める情報及びそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズ(株)を理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

※ 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。

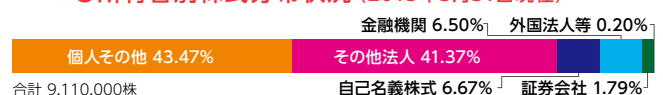


株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

● 所有者別株式分布状況 (2015年3月31日現在)



地域社会とともに

※ 東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災からの復興を願い、東北6県の祭りが集う「東北六魂祭2015」が2015年5月30日(土)～5月31日(日)に秋田県秋田市で開催されました。今回も大変盛況で約26万人の来場者がありました。

キーウェアソリューションズ(株)は、「東北六魂祭」の開催趣旨に深く共感し、東日本大震災復興支援への取り組みの一環として、5回目となる今年もベネフィット・ワンふれあい広場に出展いたしました。当社のブースでは、花の種やタトゥーシールの配布やタブレット端末を活用した抽選等のイベントを行い、大変多くの方々にご足をお運びいただきました。キーウェアソリューションズ(株)では、今後も企業活動を通じ、復興支援のお役に立てるよう取り組んでまいります。



※ 福島ひまわり里親プロジェクト

キーウェアグループでは「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しています。

「福島ひまわり里親プロジェクト」とは、2011年5月に福島と全国の絆づくり、教育対策、雇用対策、観光対策等々のさまざまな思いを込めてスタートしたプロジェクトです。里親は種を購入し、栽培し、種を採取して送り返します。その種を福島県内で栽培し、採取した種から油を搾り福島県内で使用します。これらの過程で雇用が生まれ、参加者との絆が生まれ、教育効果もあるというものです。

2014年は、キーウェアグループの役員・社員の有志14名の自宅と、本社裏でひまわりを栽培し、10月に種を「福島ひまわり里親プロジェクト」に送りました。2015年は有志31名の自宅と本社裏でひまわりの栽培を始めました。



※ 地域清掃活動

キーウェアグループでは、本社のある東京都世田谷区で周辺地域の清掃活動に取り組んでいます。地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、月1回実施し、役員・社員によるボランティアが参加しています。



※ 富士山清掃

キーウェアソリューションズ(株)では、(株)日本パープル主催の富士山清掃活動に参加しました。役員・社員の有志とその家族が参加し、富士山五合目駐車場を中心にゴミ拾いを行いました。

世界遺産である富士山を訪れる人が気持ちよく過ごせるような環境作りに協力したいという思いで、これからも参加したいと考えています。



※ エコキャップ運動

キーウェアグループは、「エコキャップ運動」に参加しています。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルメーカーへ売却し、その売却益をNPO法人「世界の子どもにワクチン 日本委員会」に寄付し、世界の子どもにポリオワクチンを届けるという運動です。キーウェアグループでは、2008年12月から活動を開始し、2015年3月末までに約52万個のキャップを回収しました。換算すると、653名分のポリオワクチンを子どもたちに届けたこととなります。

※ 収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

使用済み切手の回収

国際協力NGO ジョイセフへ寄贈

不用カレンダーの寄贈

日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈

ろうきんエコブック制度Re Bookに古本を寄贈

中央労働金庫が主催する障がいを抱えた方々のはたらく場をつくることのできる社会貢献活動Re Book制度に古本を寄贈





社員とともに

： 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上を図り、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系/ビジネス系/ヒューマン系の体系的な研修を提供します。そして、個人の育成計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導・育成を実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては資格取得奨励金を支給しています。

2012年度より、人事考課制度に「役割グレード制」を導入し、併せて人材育成プロセスの改善に着手しました。若手社員の育成、新技術習得やグローバル人材育成を意識した公募制の研修制度(フロンティア・チャレンジ研修)をスタートさせ、次世代人材育成の強化に着手しております。

： インターンシップの実施

2009年度より、学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。

システムエンジニアの仕事を理解していただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様企業の問題解決を図る企業向けサービスや、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出するサービス企画開発のプロセスなどを体感していただきました。

： ワーク・ライフ・バランス ～次世代育成支援の取り組み～

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。
- 仕事と子育て等の両立を支援・推進する諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など)の周知や情報提供を行います。
- 子育て等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。

育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2012年	2013年	2014年	2015年
育児休業取得者	5人	1人	6人	9人
育児時短勤務利用者	6人	7人	5人	4人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

： 健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年には保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断有所見者)を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を図っています。

： キーウェアサービス(株)の取り組み

キーウェアサービス(株)には、社員有志が集まったKeyCATというチームがあります。このチームは、家族/パートナー社員も参加する楽しいバーベキュー等のイベント、スキル向上を目指した勉強会や同じ趣味の仲間が集まるランニング/フットサル等のサークル活動などまでを企画運営しております。



： キーウェア西日本(株)の取り組み

キーウェア西日本(株)では社員の親睦を目的に各種活動の推進を図っており、今年度、創立以来初めてのサークル『アウトドアサークル部』が活動を開始しました。1回目の活動は11名参加し、桜で有名な吉野山のハイキングに行ってきました。今後は、より多くの社員が参加し有意義な活動になることを期待しています。



： キーウェア九州(株)の取り組み

キーウェア九州(株)は今年度の5月、福岡県が主催する「ふくおかエコライフ応援サイト」にエコ事業所として登録しました。キーウェアグループとして環境目標を持って活動を続けてきましたが、このエコライフ応援サイトでの「省エネで増やした木の数」も目標にして気持ちを新たにして取り組んでいます。この増やした木の数は、省エネ活動で削減した電気、ガソリンなどをCO₂削減量に換算し、杉の木(樹齢50年相当)が1年間で吸収するCO₂の量で割り返した木の数となります。今までは消費量の前年度比などの単純な目標値で活動していましたが、増やした杉の木の数を目標とすることで環境への貢献度合いが具体的に数字で見えるためより励みになると考えています。



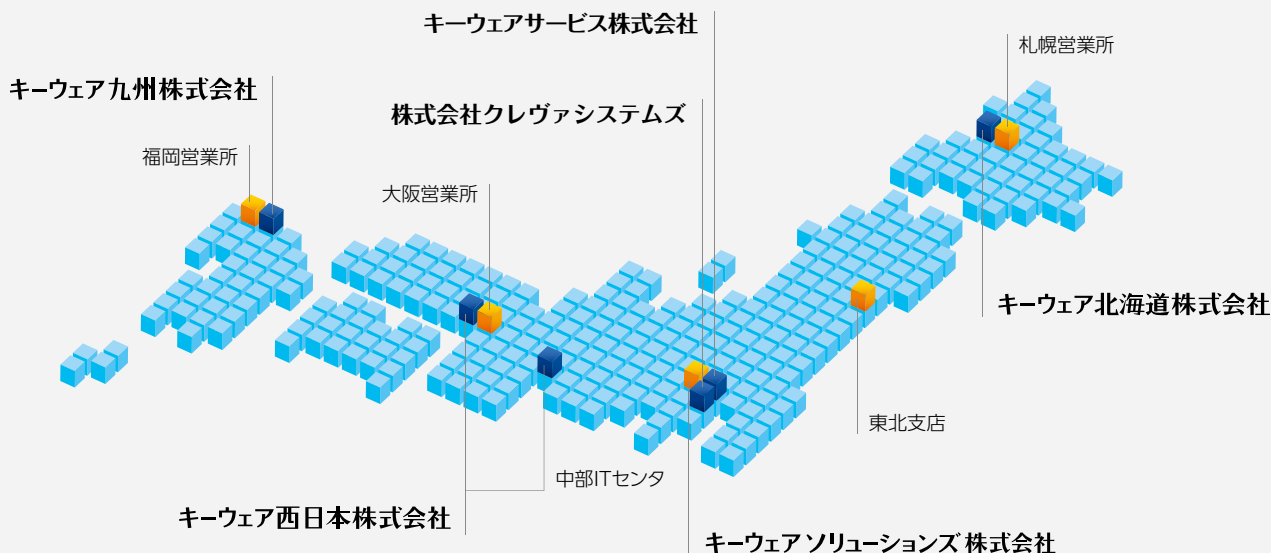
： (株)クレヴァシステムズの取り組み

(株)クレヴァシステムズでは「社員の成長が会社の成長に繋がる!」をモットーに、人材育成では階層別教育や最新技術取得に向けた研修、ワーキンググループ活動、資格取得支援を行っています。また、社内コミュニケーション活性化を目的としたCCT(Creva Communication Team)の活動として、企業対抗駅伝大会への参加やプロジェクト紹介交流会等の企画・運営を行い、役職や部門の垣根を越えた交流の場を社員に提供しています。



会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	163億82百万円 (2015年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,084名 (2015年3月31日現在・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 (証券コード: 3799)		



キーウェアソリューションズ株式会社

本社
〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
TEL. 03-3290-1111(代表) FAX. 03-3290-6741

東北支店
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央3-2-1
(青葉通プラザ)
TEL. 022-713-8191(代表) FAX. 022-713-8192

札幌営業所
〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-5
(丸増ビルNo.18)
TEL. 011-716-5858 FAX. 011-757-2322

大阪営業所
〒541-0045 大阪市中央区道修町3-4-10
(損保ジャパン日本興亜道修町ビル)
TEL. 06-6202-3717 FAX. 06-4707-3770

福岡営業所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-13-21(エフビル)
TEL. 092-452-0957 FAX. 092-452-0953

キーウェアサービス株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
TEL. 03-3290-2501(代表) FAX. 03-3290-2509

キーウェア北海道株式会社

〒060-0807 札幌市北区北七条西1-1-5
(丸増ビルNo.18)
TEL. 011-757-8551(代表) FAX. 011-757-2322

キーウェア西日本株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3-4-10
(損保ジャパン日本興亜道修町ビル)
TEL. 06-6202-3711(代表) FAX. 06-4707-3770

中部ITセンター
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-3(伏見第一ビル)
TEL. 052-220-5677(代表) FAX. 052-220-5680

キーウェア九州株式会社

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-13-21(エフビル)
TEL. 092-452-0950(代表) FAX. 092-452-0953

株式会社クレヴァシステムズ

〒105-0014 東京都港区芝3-24-21(三和ビル)
TEL. 03-5443-3551(代表) FAX. 03-5443-3561

経営理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業	<u>IT can create it.</u>
スローガン	クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

編集方針

「キーウェアグループ CSR報告書2015」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様は、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動（CSR）につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



創立50周年ロゴについて



創立50周年ロゴは社員公募のデザインを原案としております。このロゴには、次の3つのメッセージをこめています。

- ・鍵のモチーフは「お客様の問題を解決するソリューションの提供」を表現しています。
- ・数字のゼロを地球に見立てて、世界を駆け巡るICTネットワークを表現しています。
- ・ゼロの中の6つの点はキーウェアグループ各社で、グループの一体感と更なる飛躍を表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営管理部 CSR推進室

TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741

<http://www.keyware.co.jp/>

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

報告対象期間

2014年度（2014年4月1日～2015年3月31日）

※一部に2015年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2015年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・地球環境へのキーウェアグループの想いを込めています。そして、その実現に向けたキーウェアグループのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。



本誌は、植物性インキを使用しています。
本誌は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。